受注数と実重量の比較

記入例｜同じ注文に、不定貫の魚・肉と定貫の加工品を置く

受注OR-001／明細L01〜L03。個は魚＝尾、肉＝ブロック、加工品＝袋。加工品は1ケース6個・1個1kg。以下の数量・単価・日付はすべて架空です。

項目	魚	肉	加工品
商品ID	F001	M001	P001
定貫不定貫	不定貫	不定貫	定貫
受注単位数	1ケース	1ケース	1ケース
予定正味重量	10.000 kg	8.000 kg	6.000 kg
出荷個数	4個	2個	6個
総重量	10.200 kg	8.200 kg	6.300 kg
風袋	0.600 kg	0.400 kg	0.300 kg
正味重量	9.600 kg	7.800 kg	6.000 kg
単価単位	円/kg	円/kg	円/個
単価	1,200円	2,000円	400円
請求数量	9.600 kg	7.800 kg	6個
税抜明細金額	11,520円	15,600円	2,400円

計算条件：正味重量＝総重量− 風袋。請求kgは小数3桁へ四捨五入し、単価を掛けた明細金額は1円未満を四捨五入します。税・送料・値引きは含みません。単位の異なる数量は合算しません。

魚F001の処理	差引数量	税抜金額	直前との差額
初回請求	9.600 kg	11,520円	—
再計量 C001	9.500 kg	11,400円	-120円
返品 R001 後	8.300 kg	9,960円	-1,440円

C001は再計量、R001はC001に続く返品。返品後の差引数量は出荷時の計量値を置き換えません。初回請求発行後の調整例です。

概念の出典：GS1 Japan「GS1標準バーコードベーシックガイド」Release 1.2.0（2024-03-18）、14ページ。確認日2026-09-15。運用・数値・丸めは編集上の設計案です。

https://www.gs1jp.org/standard/barcode/basicguide.pdf

数量比較の空欄版

印刷記入用の抜粋｜計算・保留判定と詳細な根拠の記録はXLSXへ

受注ID：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 出荷日：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
記入担当：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 確認担当：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

項目	商品1	商品2	商品3
明細ID			
商品ID・品名			
定貫不定貫			
受注単位・受注単位数			
予定正味重量（kg）			
出荷ID			
出荷個数（個）			
総重量（kg）			
風袋（kg）			
正味重量（kg）			
単価単位（円/kg・円/個）			
単価（円）			
請求数量・請求単位			
税抜明細金額（円）			
計量票ID・ロット			
確定者・確定日時			
請求ID・請求状況			

正味重量を予定重量から埋めない／未確認の風袋は空欄のまま／真のゼロは0と記入。期限・欠品・代替・確定者の確認が終わるまで、請求数量を確定しません。

条件：不定貫×円/kgと定貫×円/個のみ。ケース単価などは別設計。XLSXの「記入例」と「空欄版」は同じ項目・列配置です。本紙はその印刷用抜粋です。

受注・出荷・請求の引継ぎチェック

チェック欄は担当者が記入｜日付の条件内判定は食品の安全判断ではありません

対象受注：___________________ 確認日：___________________
引継ぎ担当：_________________ 受取担当：_________________

確認項目	確認内容	結果
商品・単位	商品IDと定貫不定貫、受注単位、単価単位が一致していますか。	☐済 ☐保留
予定と実績	受注時の予定を上書きせず、出荷IDと実測を分けて残しましたか。	☐済 ☐保留
総重量と風袋	同じ出荷分の値ですか。空欄の風袋を0扱いしていませんか。	☐済 ☐保留
確定根拠	計量票ID、ロット、出荷個数、正味重量を確認しましたか。	☐済 ☐保留
期限条件	納品予定日、期限種別、表示期限、最低残日数、数え方を照合しましたか。	☐済 ☐保留
欠品・代替	部分欠品の残り、代替品のID・単価と顧客の確認記録が残っていますか。	☐済 ☐保留
確定者・日時	数量入力だけで確定していませんか。保留が解消し、責任者が確認しましたか。	☐済 ☐保留
丸め位置	請求数量と明細金額の丸めを取り決め通りに行いましたか。	☐済 ☐保留
請求との照合	元出荷と請求ID・状況が対応し、二重取込を確認しましたか。	☐済 ☐保留
訂正・返品	元値、変更後、理由、差額、承認者、直前処理IDを残しましたか。	☐済 ☐保留
単位混合の禁止	kgと個数を合算していませんか。金額の税抜・通貨条件を揃えましたか。	☐済 ☐保留
最終引継ぎ	保留行を請求へ渡さず、未完了分の担当と次回確認日を決めましたか。	☐済 ☐保留

保留理由・担当・次回確認日：

____

____

本紙は法令上の必須チェックリストではありません。税額、食品の安全性、規格適合、計量器との接続品質を判定するものではありません。

訂正・返品の記録

空欄版｜変更前後、元請求、直前処理ID、承認を一緒に残す

発行前の差替え／発行後の調整：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
単価が変わらない再計量・返品を対象とします。価格変更・別の返金条件は別計算です。

確認・記入項目	処理1	処理2
処理ID・処理種別		
受注ID・明細ID／商品ID		
元出荷ID		
元請求ID・明細ID		
直前処理ID		
処理記録日時		
変更前の請求数量・単位		
変更前の税抜金額（円）		
再計量の総重量・風袋（kg）		
返品確定数量・単位		
単価（円/請求単位）		
変更後の請求差引数量		
変更後の税抜金額（円）		
確定差額（円）		
変更理由・計量／返品根拠ID		
承認者・承認日時		
連携・請求処理状況		

差額＝変更後の税抜金額− 変更前の記録済み税抜金額。返品後の数量は請求上の差引であり、初回の計量記録は残します。再計量訂正と返品を混同しないでください。

計算・確認条件の編集元：配布Excel。「訂正例」「訂正空欄」を参照し、空欄を0や承認済みとして扱わないでください。

水揚げ・分割出荷の記入例

正味重量・計量時点・出荷先・残量をつなぐ

説明用の架空例。箱数から重量を固定換算しません。未計量や残量未確認は空欄。量がないと確認できた場合だけ0を入力します。

水揚げID	社内ロットID	魚種・箱数・全体の計量
LA-001	LT-SEA-001	魚種A／6:20／10箱全体 正味100kg

記録・ID	計量時点	正味重量・行先	社内ロット
水揚げ LA-001	6:20	100kg（10箱全体）	LT-SEA-001
出荷 SH-SEA-01	8:10	60kg・A社（大）	LT-SEA-001
出荷 SH-SEA-02	9:20	35kg・B社（中）	LT-SEA-001
保留在庫	9:30	5kg・保留庫A（選別保留）	LT-SEA-001
用途変更	9:30の照合時点	0kg・用途変更なし	LT-SEA-001

数量照合：100＝60＋35＋5＋0kg。A社向け60kg、B社向け35kgだけを請求へ渡す。

記録項目	記入・確認内容
実測状態・計量票ID	全体・出荷ごと・保留を計量済／未計量で区別。記入例の票はWT-100、WT-SEA-01〜03。
用途変更量と理由	0kg・用途変更なし
訂正ID・訂正元・旧値・新値・理由	未反映の訂正例：C-SEA-001、SH-SEA-01、60→59.5kg、秤再確認。旧票WT-SEA-01と新票-Rを残し、在庫も再計量。
確認者・日時・状態	出荷担当A 8:15／出荷担当B 9:25：確定。在庫担当9:30：保留。
公的番号・制度対象の確認	例は制度対象未判定。公的な漁獲番号・荷口番号は空欄。社内ロットと区別し、制度対象を確認した場合のみ記録。

公的記録の案内：水産庁「漁獲情報等伝達サブシステムについて」。社内表で公式制度の記録を置き換えません。
https://www.jfa.maff.go.jp/j/kakou/system.html

水揚げ・分割出荷の空欄版

正味重量・計量時点・出荷先・残量をつなぐ

説明用の架空例。箱数から重量を固定換算しません。未計量や残量未確認は空欄。量がないと確認できた場合だけ0を入力します。

水揚げID	社内ロットID	魚種・箱数・全体の計量

記録・ID	計量時点	正味重量・行先	社内ロット
水揚げ			
出荷1（ID）			
出荷2（ID）			
保留在庫			
用途変更			

数量照合：水揚げ____kg＝出荷____kg＋保留____kg＋用途変更____kg。差____kg。

記録項目	記入・確認内容
実測状態・計量票ID	
用途変更量と理由	
訂正ID・訂正元・旧値・新値・理由	
確認者・日時・状態	
公的番号・制度対象の確認	

公的記録の案内：水産庁「漁獲情報等伝達サブシステムについて」。社内表で公式制度の記録を置き換えません。
https://www.jfa.maff.go.jp/j/kakou/system.html

提出先への受渡し確認

提出先の受付方法は未確認です。確認結果を記入してください。

確認項目	記入欄	確認のしかた
受渡し先		漁協・市場・該当公的システムの名称
元記録・参照ID		提出対象と元記録を対応させる
方法・指定形式		提出先に確認する。自動提出を前提にしない
既存提出の有無・重複確認		同じ記録を既に提出していないか確認
担当者・確認日		確認した人と日付
確認状態	未確認	確認できた項目だけ更新
未確認時の次の確認先		不明な方法は推測で埋めない